

令和8年度「論文準修士コース」受講生 募集案内

令和7年12月
富山県立大学

富山県立大学では、令和8年度の大学院研究生『論文準修士コース』受講生の募集を行います。

論文準修士コースは、研究と科目履修を組み合わせた1年間の教育研究コースです。若手技術者が働きながら大学で研究と専門的知識を修得できます。

1. 論文準修士コースの特徴

①企業が抱える研究課題の解決

県立大学教員の指導のもと、若手技術者の業務に関連した実践的な研究を行うことにより、短期間に企業ニーズに沿った実務成果を上げることが可能です。

②若手技術者の人材育成を支援

若手技術者が1年間、企業で働きながら県立大学で高度な研究開発能力と企業経営に必要なMOT（技術経営）等の専門的知識を修得することにより、「経営の分かる若手技術者」の育成を支援します。

③技術者自身のスキルアップ

県立大学教員の指導による高度な研究開発の実施や専門的知識の修得により、スキルアップが図れます。また、修了者には「富山県立大学論文準修士」の称号を授与します（さらに学修研究を希望する場合、「修士」や「博士」の学位取得も可能です）。

2. 論文準修士コースの概要

コース内容	研究	1テーマについて、指導教員のもと学内外において研究に従事し、修了時まで研究の成果を記した論文（準修士論文）を作成します。			
	科目履修	MOT 科目を含めた5科目について、学内で正規の大学院生とともに受講し、レポート等で成績を評価します。			
		部門	授業科目	履修要件	備考
		MOT 科目	技術経営概論	必修科目	
		教養科目	高度実践英語 科学技術論	この中から1科目以上を選択	合計4科目を選択
専門科目	各専攻が開設する授業科目	この中から1科目以上を選択			
募集人数	各専攻 （機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、環境・社会基盤工学専攻、生物・医薬品工学専攻） 若干名 ※令和8年度に新設する情報工学研究科では論文準修士コースを設けないため、受講生を募集しません。				
入学資格	大学を卒業した方、または、同等の学力があると認められた方で、入学時現在で1年以上の専門的な実務経験を有する方（ただし、留学目的で来日の外国籍の方を除きます。）				
修学期間	毎年4月から1年間（特別な理由により、4月入学が困難である場合は、10月入学を認める場合があります。）				

修了	準修士論文の審査に合格し、履修科目を修得された場合には、修了証とともに「 富山県立大学論文準修士 」の称号を授与します。
受講料	「論文準修士コース」へ入学される場合、次の費用が必要です。 入学審査料：9,800 円 入 学 料：富山県の住民の方は 56,400 円、その他の方は 84,600 円 授 業 料：月額 29,700 円（年額 356,400 円）
志願 手続	教員とのマッチングを経た後、入学願書及び研究計画書等を提出していただきます。
出願 期間	令和 8 年 2 月 2 日（月）～令和 8 年 2 月 27 日（金）まで

3. 各専攻の教育研究概要

幅広い工学分野から、研究テーマをお選びいただけます（詳細についてはお問い合わせください）。

機械システム工学専攻

熱流体工学部門、固体力学・設計生産工学部門、材料設計加工工学部門

環境に配慮した安全で安心な社会の構築を目指した、先端的で高度な機械工学の専門教育と研究を行います。

電気電子工学専攻

電子デバイス工学部門、電子通信システム工学部門

創造性に富み、社会の変化に柔軟に対応できる人材の養成を目指し、現代社会を支える高度なハードウェアやシステムに関する教育と研究を行います。

環境・社会基盤工学専攻

環境工学部門、社会基盤工学部門

さまざまな環境問題を解決できる幅広い視野を持つ人材を育むことを目標に、環境保全のための高度な専門技術やマネジメントに関する教育と研究を行います。

生物・医薬品工学専攻

酵素化学工学部門、応用生物プロセス学部門、微生物工学部門、生物有機化学部門、機能性食品工学部門、植物機能工学部門、応用生物情報学部門、製薬化学工学部門、バイオ医薬品工学部門

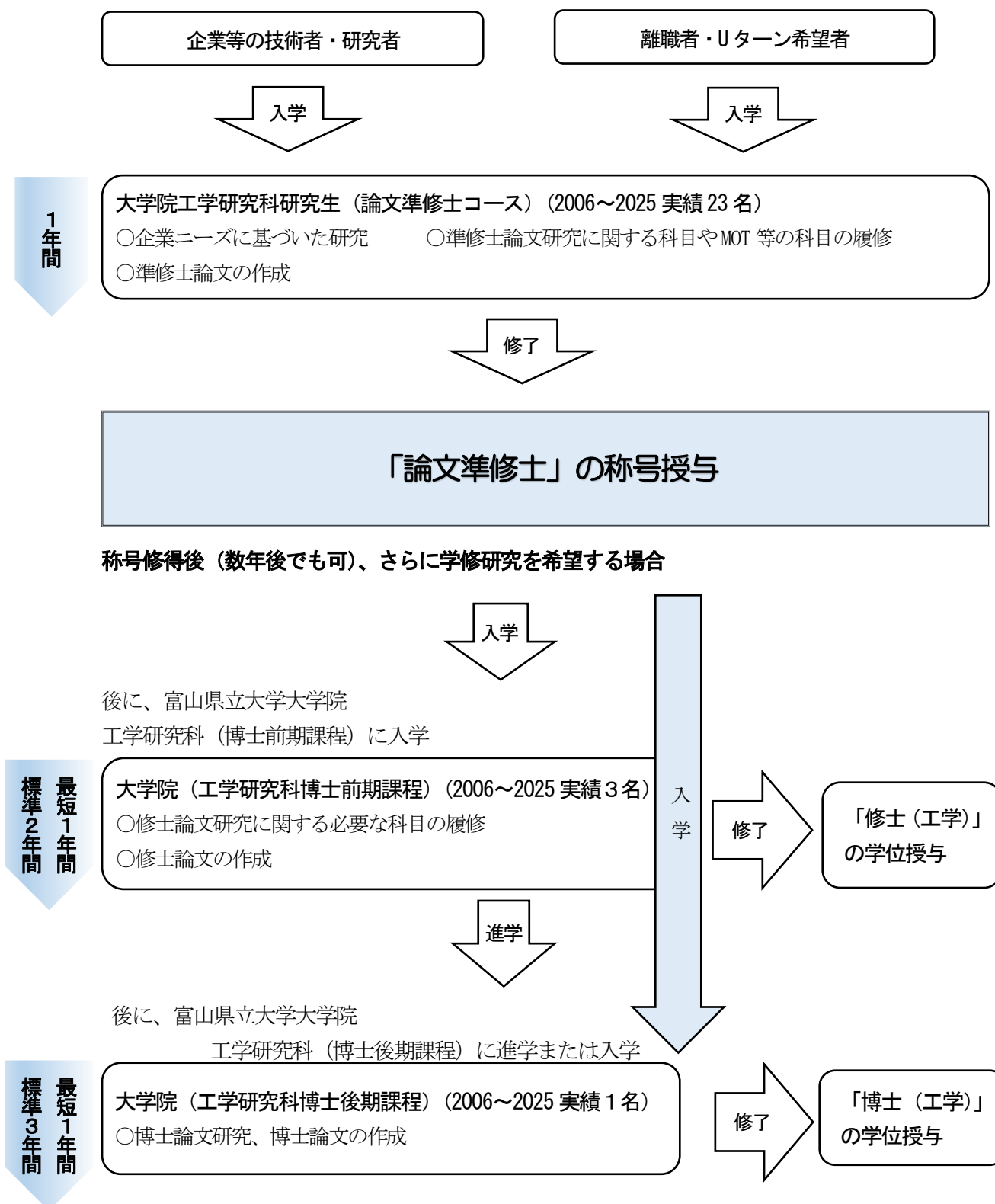
生命科学に関する新知識（バイオサイエンス）と新技術（バイオテクノロジー）の教育と研究を工学的見地に重点において行います。

OMOT 科目概要（毎週金曜日午後の開講）

企業で求められる MOT（技術経営）に関する基礎的な知識、本県における産業の特色・事例、地域企業等の経営者や技術者による講義やケーススタディを学ぶことができます。

※科目履修のみご希望の方は、「大学院科目等履修生」として受講することができます。

4. 「修士」・「博士」の学位取得への道筋



「論文準修士コース」から大学院（工学研究科の博士前期課程及び博士後期課程）へ入学する場合のメリット

A. 大学院入学後、標準修業年限を短縮して学位取得することが可能です。

大学院入学後は、民間企業や論文準修士コースでの研究実績を基礎に、当該課程（博士前期は2年、博士後期は3年）を短縮して修了（博士前期、博士後期とも最短1年）、学位（修士または博士）を取得することが可能です。（※）
※「論文準修士コース+大学院在学期間短縮措置」の利用で、大学院の標準修業年限在学より経費面で有利になります。

ただし、令和8年度に新設する情報工学研究科に入学された場合、論文準修士コースでの研究実績を基にした在学期間の短縮はできません。

B. 高校・高専・短大卒業の方も、大学院に入学することができます。

入学資格審査に際し、入学希望者のキャリア（学歴・企業在籍年数・研究実績等）や論文準修士コースでの研究実績を十分に勘案します。

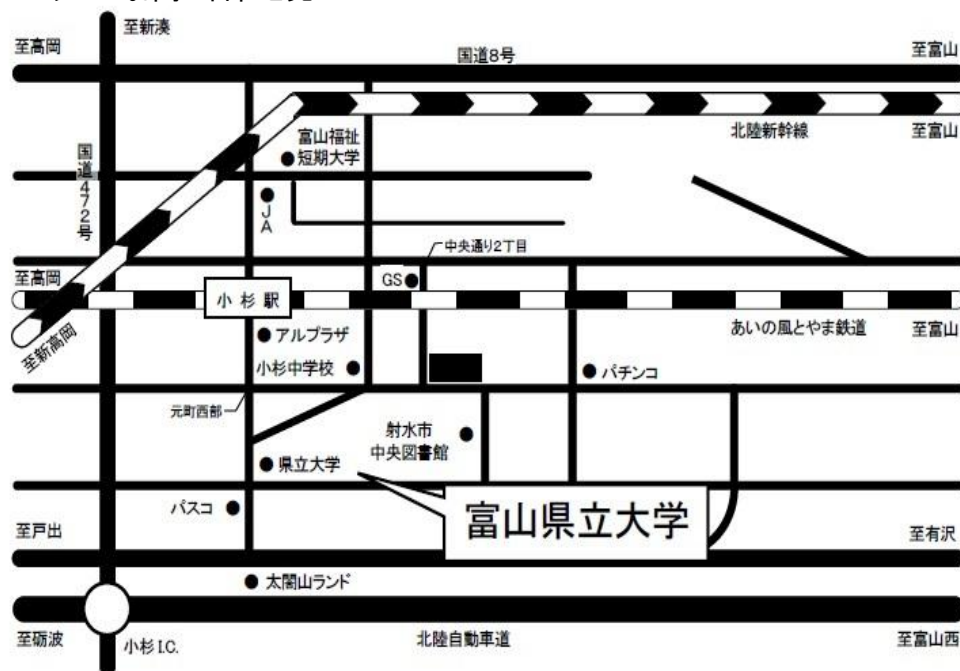
C. 論文準修士コースで修得した単位は、大学院工学研究科博士前期課程へ入学後、修了要件単位に算入することができます。

大学院工学研究科博士前期課程に入学した場合は、受講済の5科目に係る単位(10単位)を大学院工学研究科博士前期課程の修了要件単位数(32単位)に算入することができます。

※令和8年度に新設する情報工学研究科に入学された場合、論文準修士コースで修得した単位を修了要件単位に算入することはできません。

D. 工学研究科博士前期課程を経ずに、工学研究科博士後期課程に入学できる場合があります。

5. アクセスマップ・お問い合わせ先



【お申込み・お問い合わせ先】

富山県立大学事務局 射水キャンパス 教務課教務係
〒939-0398 富山県射水市黒河 5180
TEL : 0766-56-7500 (内線 1231) FAX : 0766-56-6182
E-mail : kyoumu@pu-toyama.ac.jp